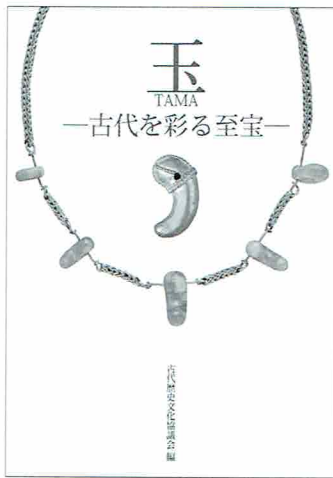


古代歴史文化協議会とは

古代歴史文化にゆかりの深い14県が連携し、
共同で調査研究・情報発信をおこなっています。

構成県

埼玉県・石川県・福井県・三重県・兵庫県・奈良県・和歌山県
鳥取県・島根県・岡山県・広島県・福岡県・佐賀県・宮崎県



『玉 - 古代を彩る至宝-』
研究成果を1冊にまとめた一般向け書籍
ハーベスト出版 定価 1,980円(税込)



協議会ホームページ
14県の玉出土遺跡データベースや、
過去の講演会記録などを掲載しています。

平成26～30年度におこなった
「古墳時代の玉類」の研究成果は、
書籍やホームページを通して情報
発信しています。

共同調査研究テーマ「古墳時代の刀剣類」のねらい

刀剣類は全国の古墳から大量に出土しています。当協議会では、個別地域の枠を超え、広い視野で刀剣類の総合的研究を進めています。

鉄製刀剣類は弥生時代に登場し、中国・朝鮮半島からもたらされたものと考えられています。また、金銀で飾った装飾付大刀も、三国時代の朝鮮半島各地域との密接な交流を物語っています。刀剣類の研究は、広く東アジアのダイナミックな交流を読み解くうえで手がかりとなるものです。さらに、刀剣類は武力・権力を象徴する品であり、軍事や権力構造と密接に関わる器財と考えられています。刀剣類の各地の様相を明らかにすることで、形成過程にある国家の実像をリアルに描き出すことに繋げていきたいと思ひます。